



## 2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東  
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 山田 圭祐 TEL 03(6809)0951  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第3四半期の連結業績 (2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	4,662	17.2	646	351.6	640	322.7	426	906.3
2018年9月期第3四半期	3,979	41.7	143	△21.0	151	△47.9	42	△87.8

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 553百万円 (ー%) 2018年9月期第3四半期 40百万円 (△88.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	42.70	40.62
2018年9月期第3四半期	4.30	4.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	5,888	3,473	58.7
2018年9月期	5,873	2,717	46.0

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 3,458百万円 2018年9月期 2,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2019年9月期	ー	0.00	ー		
2019年9月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	26.2	780	89.8	780	84.2	500	123.3	50.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2019年3月4日付で新株予約権の行使、2018年9月28日及び2019年3月4日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得をしたため、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については当該影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) ー、 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年9月期3Q	10,469,400株	2018年9月期	9,915,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	216,851株	2018年9月期	53,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年9月期3Q	9,986,444株	2018年9月期3Q	9,854,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションを掲げ、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンのもとに、ネットオークション・ショッピングの比較検索サイト「オークファン」をはじめとした情報提供(インターネットメディア)事業、卸企業様・メーカー様等を対象としたマーケットプレイス運営事業、インターネット上での販売活動支援等を行うソリューション事業及び、事業投資活動等を行うインキュベーション事業を展開しております。

当社グループは、消費者に届けられることなく廃棄される約22兆円の法人在庫(※)に着目し、創業来蓄積した大量の商品実売データを基に、これらの在庫を「適切な価格で」「適切なマーケットに」お届けする支援を行ってまいりました。特に、2017年12月からはBtoC向けお買い物得品EC事業の株式会社ネットプライスを子会社化したことにより、相場データのみならず自ら積極的に流通に関与するマーケットプレイス事業への本格展開も果たしました。

このような中、当連結会計年度においても22兆円の巨大市場の攻略に向け、事業推進を行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,662,387千円(前年同期比17.2%増)、営業利益は646,582千円(同351.6%増)、経常利益は640,630千円(同322.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は426,431千円(同906.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### (メディア)

当セグメントは、創業来のデータの収集・解析基盤及び、これらのデータを活用したインターネットメディア(aucfan.com)の運営を主とした当社グループの基盤の一つとなるセグメントであります。

当社が保有する流通相場データを活用した「オークファンプロPlus」や、オークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」開校数の増加などが業績を牽引し、売上高1,709,751千円(前年同期比31.3%増)、営業利益146,941千円(同231.2%増)となりました。

#### (マーケットプレイス)

当セグメントは、22兆円の巨大市場の攻略への足がかりとして最も重要なセグメントであると位置づけております。

法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」、国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」、BtoC向けECサイト「ネットプライス」及び社会貢献型サンプリングサービス「Otameshi」それぞれにおいて積極的な投資・成長に向けた施策の実行を継続しております。「NETSEA」では日々流通額の過去最高流通額を記録した後も前年流通額を上回る水準を維持しており、「Otameshi」においては東京ガス株式会社と「junijuni sponsored by TOKYO GAS」を開設したこともあり、順調に成果が現れています。また、「ネットプライス」ではシンガポール企業のShopeeがもつマーケットプレイスに出店するなど、海外を含めた新規販路開拓を推し進めておりますが、国内販売の減少を止めるには至りませんでした。これらの結果、売上高2,341,657千円(前年同期比2.0%増)、営業利益8,817千円(同86.6%減)となりました。

#### (ソリューション)

当セグメントは、データとマーケットプレイス(販路)を繋ぐ戦略的事業投資を含む、当社グループにとって重要なセグメントであり、継続的に事業投資を実施しております。

このような投資フェーズの中、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス「タテンポガイドNEXT」の安定的な黒字化に向けた販売促進及び費用の見直しが功を奏した結果、売上高209,975千円(前年同期比35.0%減)、営業利益11,493千円(前年同期は52,938千円の営業損失)となりました。

#### (インキュベーション)

当セグメントは、事業投資活動及び新規事業の創出を通じて、当社が中長期に亘り競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。

営業投資有価証券の売却及び、投資先企業へのコンサルティング及び新規事業への事業投資等を実施した結果、売上高574,638千円(前年同期比382.3%増)、営業利益472,237千円(同525.8%増)となりました。

※ 出所：平成28年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,888,240千円(前連結会計年度末は5,873,838千円)となりました。

流動資産は、4,329,689千円(前連結会計年度末は4,049,504千円)となりました。主な要因といたしましては、営業投資有価証券が580,438千円増加、現金及び預金が214,744千円減少、仕掛品が59,863千円減少、受取手形及び売掛金が69,020千円減少した結果であります。

固定資産は、1,557,308千円(前連結会計年度末は1,822,160千円)となりました。主な要因といたしましては、長期貸付金が56,912千円増加、のれんが159,905千円減少、ソフトウェアが30,022千円減少、繰延税金資産が99,080千円減少した結果であります。

繰延資産は、1,241千円(前連結会計年度末は2,173千円)となりました。要因といたしましては、社債発行費が931千円減少した結果であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,414,821千円(前連結会計年度末は3,156,679千円)となりました。

流動負債は、1,767,680千円(前連結会計年度末は1,965,168千円)となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等が25,244千円増加、買掛金が72,481千円減少、1年内返済予定の長期借入金が36,955千円減少した結果であります。

固定負債は、647,140千円(前連結会計年度末は1,191,511千円)となりました。主な要因といたしましては、長期借入金が422,547千円減少、社債が125,000千円減少した結果であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,473,419千円(前連結会計年度末は2,717,158千円)となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が426,431千円増加、資本金が181,566千円増加、資本剰余金が181,566千円増加、自己株式が159,920千円増加した結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期通期連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。なお、業績見通しに変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,094,725	1,879,981
受取手形及び売掛金	594,049	525,028
営業投資有価証券	897,224	1,477,663
商品	173,248	216,188
仕掛品	60,050	186
貯蔵品	2,599	2,562
未収入金	148,881	136,958
その他	114,015	124,275
貸倒引当金	△35,289	△33,155
流動資産合計	4,049,504	4,329,689
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	68,800	60,063
工具、器具及び備品(純額)	48,540	43,210
その他(純額)	3,700	5,442
有形固定資産合計	121,041	108,716
無形固定資産		
のれん	601,526	441,620
ソフトウェア	406,790	376,768
ソフトウェア仮勘定	129,134	120,239
その他	1,682	1,502
無形固定資産合計	1,139,133	940,131
投資その他の資産		
長期貸付金	—	56,912
繰延税金資産	373,650	274,570
その他	188,334	176,977
投資その他の資産合計	561,984	508,460
固定資産合計	1,822,160	1,557,308
繰延資産		
社債発行費	2,173	1,241
繰延資産合計	2,173	1,241
資産合計	5,873,838	5,888,240
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	277,172	204,691
短期借入金	300,000	300,000
1年内償還予定の社債	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	499,677	462,722
未払法人税等	74,563	99,808
未払金	353,122	343,603
ポイント引当金	5,689	4,208
その他	329,942	227,646
流動負債合計	1,965,168	1,767,680
固定負債		
社債	125,000	—
長期借入金	1,063,099	640,552
その他	3,412	6,588
固定負債合計	1,191,511	647,140
負債合計	3,156,679	2,414,821

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	679,591	861,157
資本剰余金	650,361	831,927
利益剰余金	1,400,720	1,827,152
自己株式	△43,251	△203,171
株主資本合計	2,687,422	3,317,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,855	141,120
その他の包括利益累計額合計	16,855	141,120
新株予約権	8,500	7,570
非支配株主持分	4,380	7,662
純資産合計	2,717,158	3,473,419
負債純資産合計	5,873,838	5,888,240

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,979,447	4,662,387
売上原価	2,095,282	2,273,974
売上総利益	1,884,164	2,388,412
販売費及び一般管理費	1,741,001	1,741,830
営業利益	143,163	646,582
営業外収益		
受取利息及び配当金	246	645
為替差益	1,010	235
助成金収入	—	570
その他	15,892	4,076
営業外収益合計	17,148	5,526
営業外費用		
支払利息	6,189	6,690
その他	2,574	4,788
営業外費用合計	8,763	11,478
経常利益	151,548	640,630
特別利益		
子会社株式売却益	—	66,373
新株予約権戻入益	182	375
事業譲渡益	13,698	—
特別利益合計	13,880	66,748
特別損失		
固定資産除却損	1,788	20,590
子会社移転費用	4,449	—
減損損失	—	35,727
その他	—	4,230
特別損失合計	6,237	60,547
税金等調整前四半期純利益	159,191	646,831
法人税、住民税及び事業税	52,582	172,879
法人税等調整額	69,120	44,237
法人税等合計	121,703	217,117
四半期純利益	37,487	429,713
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,376	426,431
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,888	3,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,308	124,264
その他の包括利益合計	3,308	124,264
四半期包括利益	40,796	553,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,684	550,696
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,888	3,282



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(新株の発行)

当社は、2019年3月4日付で、新株予約権の権利行使による新株発行の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が181,566千円、資本剰余金が181,566千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が861,157千円、資本剰余金が831,927千円となっております。

(自己株式の取得)

当社は、2018年9月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式89,100株(取得価額79,964千円)の取得、2019年3月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式74,500株(取得価額79,898千円)の取得を行いました。

この結果、単元未満株式の買取りとあわせて、当第3四半期連結累計期間において自己株式が159,920千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が203,171千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	メディア	マーケット プレイス	ソリューシ ョン	インキュベ ーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,249,594	2,295,517	315,193	119,141	3,979,447	—	3,979,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,250	920	7,955	—	61,125	△61,125	—
計	1,301,844	2,296,437	323,149	119,141	4,040,573	△61,125	3,979,447
セグメント利益又は 損失(△)	44,368	66,037	△52,938	75,462	132,930	10,233	143,163

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去10,233千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に、「マーケットプレイス」セグメントにおいて、株式会社ネットプライスの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、27,799千円であります。

また、第2四半期連結会計期間に、「ソリューション」セグメントにおいて、株式会社ゼロディブの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、12,333千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	メディア	マーケット プレイス	ソリューシ ョン	インキュベ ーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,557,228	2,329,668	200,851	574,638	4,662,387	—	4,662,387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	152,522	11,988	9,124	—	173,635	△173,635	—
計	1,709,751	2,341,657	209,975	574,638	4,836,022	△173,635	4,662,387
セグメント利益	146,941	8,817	11,493	472,237	639,489	7,092	646,582

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去7,092千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間に、「ソリューション」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、34,980千円であります。